

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2025年 7 月 2 日
【会社名】	株式会社豊和銀行
【英訳名】	THE HOWA BANK, LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役頭取 権藤 淳
【本店の所在の場所】	大分市王子中町 4 番10号
【電話番号】	097(534)2611 (代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員総合企画部長 神野 康弘
【最寄りの連絡場所】	大分市王子中町 4 番10号
【電話番号】	097(534)2611 (代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員総合企画部長 神野 康弘
【縦覧に供する場所】	株式会社 豊和銀行 福岡支店 (福岡市博多区博多駅南 2 丁目 1 番 9 号) 証券会員制法人福岡証券取引所 (福岡市中央区天神 2 丁目14番 2 号)

1【提出理由】

2025年6月27日開催の当行第107回定時株主総会において、決議事項が決議されましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第9号の2の規定に基づき、本報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 株主総会が開催された年月日

2025年6月27日

(2) 決議事項の内容

第1号議案 剰余金の処分の件

イ 株主に対する剰余金の配当に関する事項及びその総額

当行普通株式	1株につき金	10円00銭	総額	58,942,400円
当行B種優先株式	1株につき金	8円00銭	総額	24,000,000円
当行D種優先株式	1株につき金	124円50銭	総額	199,200,000円
当行F種優先株式	1株につき金	185円00銭	総額	185,000,000円

ロ 効力発生日

2025年6月30日

第2号議案 資本準備金の額の減少の件

イ 資本準備金の額の減少の目的

今後のD種優先株式の一部償還を見据えて、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の額を減少し、同額をその他資本剰余金に振り替えるものであります。

ロ 資本準備金の額の減少の内容

減少すべき資本準備金の額

資本準備金の額11,352,497,350円のうち7,000,000,000円を減少し、資本準備金の額を4,352,497,350円とします。なお、減少する資本準備金は、その他資本剰余金に振り替えます。

資本準備金の額の減少が効力を生ずる日

2025年8月1日

第3号議案 定款一部変更の件

2024年7月31日にE種優先株式を全て消却したため、同株式に係る規定を削除するものであります。また、この削除に伴い発行可能株式総数や条数の繰り上げ等所要の変更を行うものであります。

第4号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）9名選任の件

取締役（監査等委員である取締役を除く。）として、榎藤淳、牧野郡二、渡部悌史、佐藤真広、浜野法生、佐藤直威、宮原雄一、赤松健一郎及び渡邊博子を選任するものであります。

第5号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

監査等委員である取締役として、梶原茂樹、河野哲郎及び秦野真郎を選任するものであります。

第6号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

補欠の監査等委員である取締役として、古庄研二を選任するものであります

(3) 当該決議事項に対する賛成、反対及び棄権の意思の表示に係る議決権の数、当該決議事項が可決されるための要件並びに当該決議の結果

決議事項	賛成数(個)	反対数(個)	棄権数(個)	可決要件	決議の結果及び賛成割合(%)
第1号議案	40,181	54	-	(注) 1	可決 95.2
第2号議案	36,897	30	-	(注) 1	可決 94.8
第3号議案	40,212	23	-	(注) 2	可決 95.2
第4号議案					
権藤 淳	40,057	178	-	(注) 3	可決 94.9
牧野 郡二	40,178	57	-		可決 95.1
渡部 倂史	40,178	57	-		可決 95.1
佐藤 真広	40,183	52	-		可決 95.2
浜野 法生	40,183	52	-		可決 95.2
佐藤 直威	40,190	45	-		可決 95.2
宮原 雄一	40,190	45	-		可決 95.2
赤松 健一郎	40,184	51	-		可決 95.2
渡邊 博子	40,183	52	-		可決 95.2
第5号議案					
梶原 茂樹	40,185	50	-	(注) 3	可決 95.2
河野 哲郎	40,200	35	-		可決 95.2
秦野 真郎	40,205	30	-		可決 95.2
第6号議案					
古庄 研二	40,205	30	-	(注) 3	可決 95.2

- (注) 1. 出席した株主の議決権の過半数の賛成による。
2. 議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、出席した当該株主の議決権の3分の2以上の賛成による。
3. 議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、出席した当該株主の議決権の過半数の賛成による。

(4) 株主総会に出席した株主の議決権の数の一部を加算しなかった理由

本総会前日までの事前行使分及び当日出席の一部の株主のうち賛否に関して確認できたものを合計したことにより、決議事項の可決又は否決が明らかになったため、本総会当日出席の株主のうち、賛成、反対及び棄権の確認ができていない議決権数は加算しておりません。